



一学期の成長を自信に、夏休みも充実した毎日を

例年以上に暑い7月を、子どもたちは元気に乗り越え、一学期の学校生活を通して大きく成長しました。初々しい中学校の制服姿で入学してきた1年生も、3年生や2年生と共に過ごす中で、中学校生活への不安も減ったようです。集団行動「巴」に先輩と取り組む様子からは、たくましささえ感じました。

生徒会活動は、今年度の生徒会スローガン『**Step to The Future** ～想像をカタチに～』のもと、佐々木小学校でのあいさつ運動やスマイルウイークの取組、毎月の生徒朝会でのレクリエーションなど、学校生活を豊かなものにしてくれました。新たな取組として始まった体育保健委員会による歯磨きウイークや図書委員会による「お勧めの本の紹介」も楽しい企画でした。

毎日の授業はもちろんですが、1学期に定期的に行われてきた「佐中サーキット」や「SQ (ササキクイズ)」への取り組みは、生徒の中に、自分で想像する以上の大きな学力や体力を育んでいます。

全校生徒が共に過ごした1学期の日々で一人一人が大きく成長できたことを自信に、夏休みも、「今の自分よりも成長する」ことを目指して、毎日を過ごしてください。

例えば、「〇〇ができるようになる」、「◇◇が分かるようになる」、「今まではすぐに△△しがちだったが、△△しなくなった」「数学の▽▽の問題が解けるようになる」など、約1ヶ月間の夏休み期間が終わった後で振り返ったときに、自分の成長や体験を実感できるような具体的な姿の実現を目指して夏休みの生活を始めましょう。

自分の生活態度や行動スタイルを、自分で点検し、見直し、正していくことを表す言葉として、次の言葉があります。

- ◆「**自律**」(意味：自分で自分を取り締まること)
- ◆「**自主**」(意味：自分のことを自分ですること)

夏休みの自分の毎日の生活ぶりを自己評価するために、この「**自律**」と「**自主**」という視点を設定し、時々自分の生活を振り返りながら、社会の一員として、家族の一員として、充実した時間を過ごしてください。そして、何よりも、健康の維持と生命の安全を第一に考え、安全で安心な夏休みにしてください。



佐中伝統の集団行動「巴」



今年度の生徒会スローガン完成



全校道徳で積極的に話し合う生徒

防災学習で、「協力」「助け合い」の大切さを学びました

7月12日（木）に、全校生徒で防災学習に取り組みました。講師として、NPO法人ふるさと未来創造堂のNさんを迎え、全校生徒そして佐々木地区自主防災会の皆さまなど12名の地域の方々に向けて講演並びに演習（HUG体験ゲーム）の指導をしてもらいました。

防災学習の冒頭でのNさんのお話は次のとおりです。

地震や水害が発生すると、避難所が開設されます。今日の学習では、小グループで「**中学生として避難所を運営する側に立ち、避難所を運営してみよう**」というHUG体験ゲームに取り組みながら、災害現場の実状や避難所がこういった様子になるかを感じてほしいと思います。

避難所は、赤ちゃんから高齢者までの様々な人たちが皆で一緒に生活する場所です。避難所がどういう所か少しはイメージできると思いますが、避難所とはどういう空間でなければいけないでしょうか。その答えは、「避難所で生活する皆が協力して支え合う場所」そして「生活の再建に向けて、心と体の準備をする場所」です。ですが、実際の災害現場では、避難所でも様々な問題が起こっています。たとえば、生活するための最低限の必要物品も備わっていない、隣の人のいびきや寝言で夜眠れない、トイレの水が流れないなど様々な問題が起こっています。今日の学習では、そんな避難所で生活する一員となった時に、中学生のみなさんにも避難所を運営する側の一員として出来ることは何かを考えてみたいと思います。場面の想定は、「土曜日の午前9時に震度6強の地震が新発田地域に発生し、佐々木中学校が避難所として開設された。ガス・水道・電気は使えません。」です。

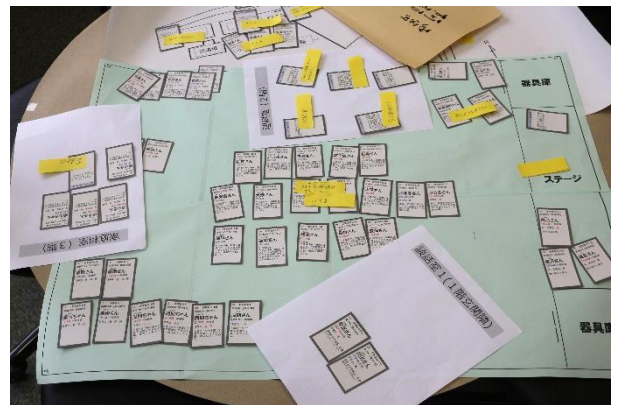
3年女子 SK 東日本大震災の時の東北の中学生達が自ら進んで行動し、小さな子どもやお年寄りを助けていたことを知り、釜石の中学生はすごいと思ったし、私も、力仕事は無理だとしても、皆の前に立って声を出したりするなど何かできることがあると思ったので、もし被災した場合には、周囲の人たちの状況を把握した上で積極的に行動しようと思いました。



3年女子 YA もし佐々木地域を襲うような地震が本当に起こったら、避難所では近所の人たちと協力する、助け合いや思いやりの気持ちをもつということが大切だと思いました。

3年男子 SR 防災で大切なことは互いに協力することだと思う。避難場所では、子どもや老人には気を配り、譲り合った方がいいと思う。

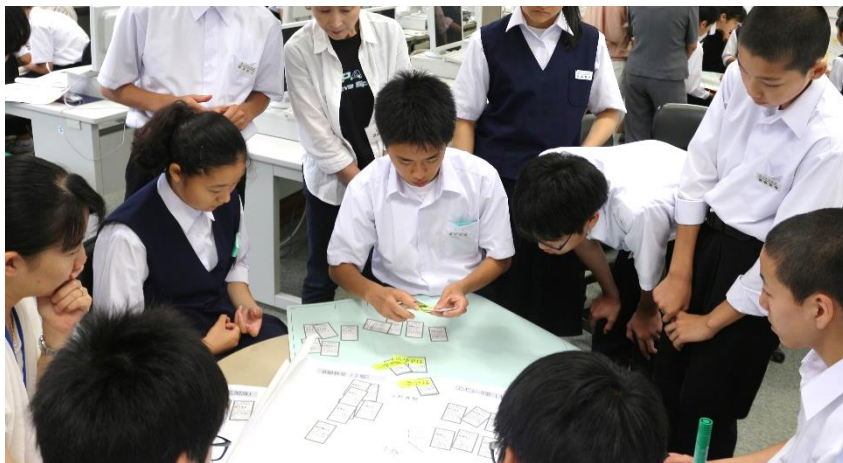
3年男子 WH 自然災害に直面したときには、避難所に避難してからの過ごし方も大事だと思います。避難所での生活では、今まで知らなかった人たちとの間に心の壁を作ってしまうてはいけないと思います。みんなで協力しようとする心をもつことが大事だと思います。



3年女子 KS 避難所に避難してくる人には、それぞれの事情があり、心配な点や困っていることも違っているはずなので、それを踏まえて対応を考えなければいけない。今回の学習を通して、私たち中学生にできることもたくさんあると分かったので、自分から進んで動いて、できることに取り組みたいです。「思いやり」と「協力」が大切だと思いました。

3年女子 IS 新発田に大きな地震は来ないと思っていたが、近くに「月岡断層」があり、大きな地震が発生する可能性もゼロではないと聞いて、自分の身近にも危険があることが分かりました。今回の HUG 体験というゲーム形式の学びの中で、仮の状況として避難所を設営する側として対応策を考えましたが、このゲームの段階で焦ってしまったのだから、実際に自然災害に襲われて避難しなければならなくなったら、想像できないくらい焦ると思うので、いざという時に焦らずに対応できるように、防災についてしっかり学習したいです。

1年男子 YS 災害が発生した時に避難所での対応の仕方を考えるという HUG 体験ゲームでさえ、いろいろな状況でいろいろな判断をしなければならなくて、とてもむずかしかった。実際に自然災害が発生した時に、自分が一人でどんなことができるかとても不安になりました。



1年男子 SK 避難所に避難してくる人の中にも、病気を患っている人や犬やネコなど様々なペットと一緒に逃げてきている人もいるかもしれません。一人一人の要望に応じて、同じ要望をもつ人を一つの部屋にまとめたりするような避難所運営はとても大変だと思いました。一度にたくさんの人が避難してくることも想定されるので、運営側が避難する部屋をすぐに決めて伝えることができるか、とても不安です。

2年男子 NT 地震や水害は発生しないだろうと思っていても、話をよく聞いてみると、意外と起こり得るんだと分かりました。避難所が開設されたとしても、避難所のどこに何があるのかが、どうなっているのかを把握することが難しいと思います。避難してくる人それぞれが違う不安を抱えていて、その不安が負の連鎖を生むと、大きなトラブルになってしまうかもしれません。



2年女子 GS 避難所の運営では、あらかじめ避難所内の部屋の配置を決め、それを理解しておかないと、避難してきた人の要望に合わせてすぐに対応できないことになる。避難所には、次から次に避難者が入って来るから、一つ一つの対応に時間を掛けすぎると、手が回らなくなる。いろんな人の訴えや困り事に対応できず、聞き逃したり、見逃したりしてしまうことになるのが不安です。

生徒の話し合いに加わっていただいた地域の皆さまからの感想も紹介します。

○HUG 体験ゲームを生徒のみなさんと一緒に体験してみて、様々なニーズを持って避難してきた人の受け入れに対応していくことの大変さを実感できてとてもよい学びになりました。実際に自然災害が起こってしまった時にどう避難していいか不安になりますが、**今回のような学びの機会や体験の場があると不安の解消にもつながる**と思いました。

○生徒の発想がユニークで、冷静な視点をもって状況判断していることに感心しました。自分が生活する集落では、日中は若い人が働きに出るので、高齢者だけになります。地域の私たちも防災に関する講話などを聞いて、**自分たちの力で地域防災のために何ができるかを考えなければならない**と感じました。

○身近なところに、月岡活断層が通っている。私自身が地震が起こったらどうなるかということイメージしてみたりするが、切実な問題としては迫ってこなかった。でも、今日のような「こんなふうにいる人が避難所に避難してきたらどう対応するか」という、みんな考えてみることで、自分事として考えることができました。



「防災学習」講師のNさんのお話

中学生の生き生きとした姿を見て、中学生と学区の方たちが一緒に防災について一生懸命に語り合える素晴らしい地域なのだなと感じました。地震発生を想定してのHUG体験ゲームでも、中学生が被災した地域の実状を想像して、その対策を一生懸命に話し合うことができました。生徒たちが日頃から「自分たちが地域の皆さんに見守ってもらえている」という実感があるからこそ、自分の住む地域が被災したときのことを真剣に考えて、話し合えるのだと思います。地域に守られ、育てられているという実感をもつ子どもたちは、きっと、地域が大好きな子どもたちです。将来、もしもこの地域を自然災害が襲うようなことがあったとしても、絶対に彼らが、地域のみなさんを助けに来てくれるはずです。常日頃から、互いが「助け合える」地域づくりが行われていることが、地域をもっと知ろう、もっと好きになろう、これからも助け合っていこうという子どもの育ちにつながっていると感じました。

☆協力・助け合い!!!

自分勝手な行動をすると、
皆が嫌な思いをするし、
困難な状況と乗り越えられないから!!!

☆思いやり!!!

☆優しさ大事!!

思いやり

皆が思いやりの心を持って
他の人のことも考えて
助け合って行動すれば
乗り越えられるはず!!

各グループが話し合った
「避難所で大切なこと」



教育鑑賞で「鼓童」の演奏を聴きました

6月26日（火）に、新発田市市民文化会館で「鼓童」の演奏を聴く「教育鑑賞」が催されました。佐々木中学校と他の2校と一緒に鑑賞しました。

激しい音での迫力ある演奏や、コミカルな音を奏でるめずらしい楽器での演奏もあり、あっという間の1時間でした。演目の途中では、各中学校の代表がステージ上に登り、鼓童のメンバーから太鼓の叩き方やリズムの取り方を教えてもらう「体験コーナー」の時間もありました。



3年男子 TR 鼓童の鑑賞をして、とても迫力があるなと思いました。最初の「**Burning**」という曲で、太鼓のすごさを教えてくれているかのような演奏で、とても驚きました。他にも、チャップなどいろいろな楽器が出て来て、とても楽しかったし、聴いていておもしろかったです。体験コーナーでは佐中生が他校の生徒に負けずとてもがんばっている姿が見られてとてもよかったです。結喜さんのパフォーマンスがすごかったです。

2年男子 YK Jang-Gwara という曲が一番心に残りました。最初にボールをチャップでキャッチしているように見せる劇から始まり、最終盤で細かくチャップを打ち鳴らしていくところがおもしろかったです。最後の一番太鼓での演奏は迫力があり、その太鼓を叩いている人の力強さが伝わってきました。とてもいい演奏会でした。

2年女子 MM 私は体験コーナーに参加しました。他の中学校から参加した人の中には、吹奏楽部でパーカッションを担当している人や、太鼓のばちをクルクル回してステージに上がることに慣れている人などがいました。私は、鼓童のメンバーが模範で叩く太鼓のリズムが難しく、間違えてしまった所もあったけど、楽しかったです。P.P.C という曲が印象に残りました。三人の息の合ったパフォーマンスがすごかったです。

1年男子 TR 僕は、鼓童の演奏では、太鼓を静かな感じて叩いて演奏するのかなと思っていましたが、今回の演奏を聴いて、とても迫力のあるものだ分かりました。一番大きな太鼓を使った演奏では、僕が座っている座席にまでその振動が伝わってきました。締太鼓の演奏では、叩いている人が太鼓をととても速く叩いているのでびっくりしました。鼓童は、新潟県佐渡で活動している集団ですが、その活躍は世界各地にも広がっていると分かり驚きました。



全校道徳で「体育祭の理想の軍（チーム）の姿」を話し合いました

7月18日（水）の3～4限に、全校生徒が体育館に集まり、佐藤先生の指導のもとで「全校道徳」を実施しました。今回の全校道徳のテーマが「体育祭」に関わることなので、グループ編成も、9月に行われる体育祭に向けて決定した赤軍と白軍のメンバーで構成されています。今回の話し合いを通して、赤軍・白軍両軍の絆を深めていこうというねらいもありました。話し合いのテーマは「理想の体育祭の軍（チーム）の姿」です。あらかじめ定められたファシリテーター（3年生が担当しました）が中心となって、活発な話し合いが行われました。各グループには、いつものように「エンタくん」（円卓のかたちをした大きな記録用紙）が準備され、それを使ってファシリテーションを行いました。「振り返り」を紹介します。



3年女子 FH

体育祭で理想としたいことは、勝つことだけを目指すのではなく、みんなが体育祭を楽しめるような軍（チーム）をつくれるように、軍のなかで優しさと良い雰囲気を大事にするということです。

3年男子 TY

今回のグループでの話し合いで僕はファシリテーターを務めました。全校道徳を終えてみて、僕はまだまだファシリテーターとしての能力が未熟だと改めて実感できました。これからは、そういう部分を成長させていきたいと思いました。

3年男子 SY

理想の軍（チーム）の姿としては、「仲良く」と「真面目」のどちらかに偏りすぎても、団結したよい軍にはならないように思いました。他学年の仲間とも協力し合い、全員が積極的に行動できる軍が最も理想的だと思います。僕自身も、積極的に行動し、団長のフォローも全力で行いたいです。一つ一つの活動を手を抜かずにやっていきます。

3年男子 WH

ファシリテーションで、グループ内の意見を交換してみて、みんなが「ムードがよくて、協力し合うことが大切だ」と思っていることがよく伝わってきました。僕は赤軍の応援団長とし



グループで活動する時には、自分の意見ばかり言わ

ないで、周りの意見をしっかりと聴くことも大切だと思います。そして、何よりも協力することが大切だと思います。私は白軍として戦えて、楽しかった」と思っている仲の良い軍にしていけるように頑張ります。

一人一人がたくさん意見を出し合って、そこから深め合っていくことが全校道徳では一番大事なことだと思います。皆で話し合った「理想の軍」を意識して、体育祭の練習や本番当日に取り組んでいこうと思います。

[illegible]

「理想の軍」について話し合っているなかで、メンバーから「理想」のたくさんの案が出てきてびっくりしました。たくさんの意見の中でも、「気持ちを一つにすること」「練習を全力で取り組むこと」は、大事なことだなと思いました。私も2年生とりたいです。

僕は応援団なので、白軍全体をまとめていく応援団長をしっかりサポートし、楽しく優しく応援の振り付けを白軍のメンバーに教えていきたいと思います。は自分から率先して返事をする事を心掛けていきたいです。

ファシリテーションを通して、両軍の良い点や悪い点を見つけることができました。私は、赤軍の良い点をさらに良い点に伸ばし、悪い点は良い点に改善していきます。そのために、赤軍の応援団の一員として、軍をまとめ、積極的に行動します。1年生から3年生までの全員が「今年の体育祭はよかった」と思えるような軍にしていきます。

私のグループが話し合った「理想の軍」で多かった意見は、「団結」でした。私も白軍の一員として他のメンバーと団結してがんばっていきたいです。

「理想の軍」というのは、応援、練習、競技などこれから始まるたくさんのことにしっかりと取り組むことで出来てくるものではないかと考えました。私は、応援をする時には、大きな声で応援したいです。

僕は、「優しさ」や「助け合い」が大切だと思いました。その理由は、優しい雰囲気があると、いろんな人と話しやすくなること、そして、助け合える気持ちがあると、友情が深まると思うからです。僕は、優しさを忘れずに応援練習や体育祭練習に取り組みたいです。

CAP プログラムで「安心・自信・自由」の3つの権利を学びました。

今年度より新発田市では、市内の全小中学校で小5・中1を対象に、いじめや虐待等への対処法を学ぶ「CAPプログラム」というワークショップに取り組んでおり、佐々木中学校でも、4回の研修（教職員対象1回、保護者対象1回、中学1年生対象2回）を行いました。

「CAP にいがた」のホームページを開くと、CAP についての説明を読むこともできます。

CAP とは、**Child Assault Prevention**（子どもへの暴力防止）の頭文字をとったもので、子どもへのいじめ・虐待・誘拐といったさまざまな暴力に対して自分を守るための人権教育プログラムです。

いくら子どものことが心配だからといっても、大人が一日中そばについて守ることはできません。何かあった時に、どう対処したらよいかを具体的にわかっていることは、とても大切なことです。子どもに教えておくことが必要となります。**CAP** プログラムで、「安心・自信・自由」の人権を子供たちに繰り返し伝えることで、子どもが本来もっている「生きる力」を引き出します。

佐々木中学校では、教職員を対象とした研修会（5/16）、保護者を対象とした研修会（6/30）、そして、中学1年生の生徒を対象とした講習会（7/10,7/12）で、「安心・自信・自由」というキーワードを通じて、子どもが安心して健やかに過ごせる環境づくりにとって大切なことを学んできました。

6月30日（土）に開催した保護者対象の研修会には20名を越える皆さんから出席していただきました。ありがとうございました。

講師のみなさんが「安心・自信・自由な時には心のカバンの中が、〈うれしい〉〈たのしい〉〈しあわせ〉〈ありがとう〉といった気持ちでいっぱいになります」と話してくれました。悩みや困った気持ちを一人で抱えないで、誰かに聴いてもらうことで、気持ちがとても軽くなることを、ゲームや劇を通して学びました。



生徒の学習の様子



教職員対象のワークショップの様子



保護者対象のワークショップの様子



ワークショップ後のアンケートへの1年生の回答結果は次のとおりです。

	アンケート項目	回答	割合
1	ワークショップを受けてどう思いましたか	楽しかった	100%
2	ワークショップは役に立つと思いましたか	とても役に立つ	100%



歯みがきタイム 給食後に歯を磨く生徒の割合が増えました

7月19日(月)からの1週間お昼休みに「歯みがきタイム」の時間を設けました。以前は、給食後に毎日歯みがきしている生徒の割合が11%程度でしたが、この期間は87%に増え、「これからも歯みがきを続けていきたい」割合が98%に達しました。

良い習慣をいつまでも継続していきましょう。

1年男子 MS 学校でも歯磨きをして、むし歯ができない歯にしていきたいです。

1年男子 NK 歯磨きタイムの前までは、給食後の歯磨きをしている人は少ししかいませんでしたが、歯磨きタイムでみんなと歯磨きすることで、楽しく歯磨きができました。毎日続けていきたいです。

2年男子 SY 一人で歯を磨いているより、みんなで給食後に歯を磨いていた方が楽しい。

2年男子 YS やっぱり歯みがきをした方が気分が良かったので、これからもまた歯みがきタイムをやってほしいです。

3年男子 YR 給食後に歯を磨くと、良い意味で、その後の気分が変わるように感じました。

3年女子 SM 歯磨きタイムには音楽も流していたので、楽しく歯を磨けてよかったです。

3年男子 IT 今までは給食後の歯みがきは出来ていなかったけれど、歯みがきタイムの期間は歯みがきが終わった人は、イラストの歯に白いシールを貼るという工夫があったので、しっかりと忘れずに歯みがきのできたので良かったです。



1年生が「食育」について学びました

7月3日(火)に、1年生が西共同調理場の栄養教諭I先生から「成長期の栄養」というテーマでのご指導をいただきました。

1年 YR いつまでも健康でいられるためには、カルシウムと鉄が必要だということが分かりました。

1年 NY 「食育」の学習できれいな物でも食べていきたいと思いました。栄養バランスのよい食事をして、健康な体をつくりたいです。

あなたの悩みをLINEで聞かせてください

「新潟県いじめSNS相談」がLINEを通じてでもできるようになったことを生徒に連絡しました。スマートフォンがない生徒のみなさんも、これまで通りに電話相談やメール相談ができます。

新潟県いじめ相談メール

ijime@mailsoudan.org

24時間子どもSOSダイヤル 0120-0-78310

8月18日(土) 佐々木夏まつりで吹奏楽部が演奏します

夏休みの恒例の行事「佐々木夏まつり」が今年も8月18日(土)に、佐々木小学校グラウンドで開催されます。午後5時頃には、佐々木中学校吹奏楽部の演奏もあります。



佐々木夏まつりでの演奏を聴きにきてください 吹奏楽部部长 TR

こんにちは！吹奏楽部です。私たちは、8月18日(土)の佐々木夏まつりで演奏をします。今年の夏まつりで演奏する曲は3曲あります。曲目は「やってみよう」、「ORA」そして「joyful」です。「ORA」という曲は吹奏楽部が初めて披露する曲です。本番まで練習できる時間は残り少ないですが、吹奏楽部員全員でしっかりと音とリズムを合わせて、聴いてくださるみなさんが楽しめる演奏にしたいと思います。1年生の部員も加わり、去年よりもにぎやかな演奏ができればいいなと思っています。今回は、新しくパフォーマンスを取り入れた曲もあります。当日の私たちの演奏を、ぜひ聴きに來てください。

2学期の主な行事予定

月	日	曜	主な予定	月	日	曜	主な予定	月	日	曜	主な予定	月	日	曜	主な予定			
8	18	土	佐々木なつまつり	10	1	月	新人戦激励会	11	2	金	県駅伝大会	12	3	月	冬季スクールバス開始			
8	24	金	PTA全国大会(新発田)	10	1	月	新発田城三階櫓見学	11	12	月	テスト前部活動停止期間(～19)	12	6	水	生徒会役員選挙 立会演説会・投票			
8	25	土	PTA除草活動 PTA全国大会(長岡)	10	3	水	市内新人戦	11	19	月	期末テスト1日目	12	13	木	期末保護者会(～18)			
8	27	月	始業式	10	5	金	英語検定	11	20	火	期末テスト2日目	12	18	火	佐中フェスティバル			
9	8	土	体育祭(翌日が代休)	10	10	水	下越地区駅伝大会	11月下旬には、3年生と3年生保護者を対象とした「進路事務説明会」を開催します。				12	19	水	新入生対象の入学説明会			
9	11	火	テスト前部活動休止期間(～18)	10	20	土	合唱コンクール					12	21	金	終業式			
9	18	火	中間テスト1日目	10	22	月	合唱コンクールの代休日					12月13日(木)からの期末保護者会では、3年生は三者面談です。 1年生・2年生を対象とした「学校スキー」は、2月20日(水)と21日(木)に行います。						
9	19	水	中間テスト2日目	10	29	月	全校防災学習(中越方面で現地学習)											
9	25	火	2年生職場体験(～27)	10	30	火	教育相談週間(～11/9)											

10月29日 全校で防災学習現地研修で中越(三条・長岡・小千谷)を訪問